

大学コンソーシアムやまがた 教育連携部会 記録

日 時	平成20年2月6日(水) 13:30~15:55
場 所	県立保健医療大学201会議室
出席者	部会長 松田幹夫(県立保健医療大学) 副部会長 中村三春(山形大学) 部会員 松山 薫(東北公益文科大学)、阿部裕美(山形短期大学)、太田裕子(羽陽学園短期大学)、舟越利弘(代理・県立農業大学校)、鈴木理恵(東北芸術工科大学)、木寫和男(県立保健医療大学)、横沢雅弘(県立米沢女子短期大学)、半澤昌子(山形短期大学)、高井伸一(放送大学山形学習センター)、原田富夫(県立産業技術短期大学校)
欠席者	部会員 玉手英利(山形大学)、白杉悦雄(東北芸術工科大学)、高橋永行(県立米沢女子短期大学)、大野 寛(山形短期大学)、田中ふみ子(羽陽学園短期大学)、戸塚茂郎(鶴岡工業高等専門学校)、高橋良男(県立産業技術短期大学校)、堤 和司(県立産業技術短期大学校)、池野尚美(山形大学)、宇野 久(山形大学)、齋藤富美子(東北公益文科大学)、長谷川守男(羽陽学園短期大学)、鈴木尚子(羽陽学園短期大学)、笹原孝紀(鶴岡工業高等専門学校)、堀 正昭(県立農業大学校)
列席者	事務局 佐竹正行、設楽美穂、羽柴晴子

議 題

- 1 事業の見直しに関する臨時総会での検討結果について
副部会長から、資料2により教育連携部会関係の事業について説明があった。
- 2 入試対応に関するアンケート結果について
- 5 大学等合同説明会と山形県大学ガイダンスセミナーについて
議題2と5は関連するので一括して検討することになった。
部会長から資料3について説明の後、県内・外での合同説明会等について意見交換が行われた。
主な質疑・意見交換等の内容は次のとおり。
Q 集客に向け、広報と高校側の協力が課題。
A 来年度は財団からの支援が見込まれることから、PRに新聞掲載やポスター作成による広報も考えられる。県教育委員会や高校長会等への一層の協力を要請したい。
Q 近県のコンソーシアムとの連携(合同開催)を検討してはどうか。
A 仙台の場合、「学都仙台」は26機関での組織であり会場確保が困難。県内の場合は、大学入試センターとの共同事業で、山形県に限定されている関係で近県のコンソーシアムとの合同開催はできない。今後の課題。
Q 仙台では予備校を会場にすることも考えてはいかがか。また、各機関が来場者全員に説明できる時間帯を設けてはいかがか。

A 予備校会場については、対象としている高校生に来てもらえるかの点で疑問。各機関ごとに説明時間を設けることについては、時間の関係で別室を準備することになるが。

Q 説明会を5月に開催するのは時期的に早すぎないのか。

A 7～8月の各機関ごとのオープンキャンパスの前に実施することとしてきた。

- ・ コンソーシアムの認知度アップに向けてマスコミ利用のPRの検討を。ポスターデザインは山形をアピールする内容にすることも。

次いで、事務局と保健大から、来年度の日程・会場について、資料6により、仙台は会場の関係で5/10（土）に、県内については高校の行事等を勘案し、山形は6/14（土）、米沢は7/5（土）でそれぞれ予約を入れている旨説明があった。意見交換の後、原案どおり了承された。なお、仙台の日程については、高校の行事等が予定されていないかを確認することになった。（事務局で確認したところ、2/8現在、行事予定はないとのこと）

また、広報方法については、保健大と事務局で原案作成し、各部会員に諮ることです了承された。

3 単位互換協定への県立農業大学校の加入について

部会長から、資料4により、経緯説明及び12/18開催の臨時総会での受け入れが了承されたことについて説明があった。なお、放送大学山形学習センターから、放送大学の規程により専修学校は単位互換対象とされていないことから、一般の利用として扱わざるを得ない旨補足説明があった。

4 20年度の単位互換について

副部会長から、単位互換について、資料5-1により今年度の利用状況の説明の後、来年度に向けての提案があり、検討の結果、次の内容です了承された。

- ・ 各機関の「特色ある科目」を、学生が理解しやすく明確に区分する。
- ・ 単位互換科目一覧の印刷物を増冊するなどし、各機関で学生への利用普及に努める。

次いで、副部会長から、eラーニングに関するデモが行われ、利用拡大のため各機関での説明会の用意もある旨の説明があった。関連して、各機関にウェブカメラが配付された。

なお、米沢女子短期大学と産業技術短期大学校（庄内校）から、次の要望があり、今後検討することになった。

- ・ （米短大）短大は在学期間が短いことから、eラーニングの科目だけでも1年前期から履修可能にしてもらえないか。
- ・ （産短大・庄内校）単位互換協定にオブザーバーとしての参加を認めてもらえないか。

6 その他

(1) (財) 新技術振興渡辺記念会からの事業委託について

事務局から、(財) 新技術振興渡辺記念会から2年間の予定で山形大学への支援の申し出があり、その中に本コンソーシアムの強化経費として20年度は1,900万円あまりの支援が見込まれている旨の説明があった。

(2) 山形城北高校での合同説明会計画について

事務局から、山形城北高校から本コンソーシアムに、校内での合同説明会開催の申し出があり各機関の賛同が得られたが、結局、高校側の都合により今回は見送りとなった旨の説明があった。関連して、今後、出前合同説明会の広報も考えることになった。

配付資料

資料 No. なし	教育連携部会名簿
資料 1	前回（12/5）の検討概要報告
資料 2	事業の見直しについて（12/18 臨時総会了承）
資料 3 - 1	入試対応に関する各機関の検討結果
資料 3 - 2	県内外高校への入試対応に関するアンケート集計結果
資料 4 - 1	農大の単位互換加入に関する各機関の検討結果
資料 4 - 2	農大からの単位互換協定への加入依頼
資料 4 - 3	農大の加入に関する手続等について
資料 5 - 1	19年度ゆうキャンパス単位互換利用状況調べ
資料 5 - 2	eラーニング授業マニュアル
資料 6 - 1	20年度合同進学説明会（案）
資料 6 - 2	新聞・情報誌広告サイズと料金表（仙台地区）